



木林木の譚

二十世紀の森づくりシリーズ 98

ユズ (二月の木)

桃栗三年柿八年、梅はずゆ
うて十三年、ユズのオオバカ
十八年という言い回しがあり
ます。

ユズは、オオバカという有
難くない称号をもらっていま
すが、さにあらず、柚子胡椒
や柚子の酢を使って鍋物など、
また冬至の風呂に入れて
て柚子湯を沸かしたり
します。



柚子は、ミカン科の
木です。皮の香りがよ
く、表皮の青い部分を
細かくおろしたものと、
青胡椒を混ぜ合わせた
大分県大山町の柚子胡
椒は絶品で、鍋料理な
どの香辛料として欠か
せません。柚子胡椒は、
青みの強い、いわゆる
青柚子のときに作りま

すが、柚子の果汁を使うとき
は黄色に熟れた黄柚子を使いま
す。強い柑橘系の香りが好
まれるものです。
柚子の香気に包まれ、体の
芯まで温まる「冬至湯」は、
江戸時代から愛されています。
万病に効くとされる一方で、
菖蒲湯などと同じく、人々に
新たなパワーを付ける「みそ
ぎ」ともなる。といわれています。
夏の菖蒲湯も独特の香気が
ありますが、柚子湯も同じで
す。
我が家でも、柚子湯を沸か
すことがあります。柑橘の爽
やかな香りがする、いつもと
違う風呂につかれれば、気分は
確かにフレッシュになります。
珍しい木・想い出の木・不
思議な木・植物好き・花好き
など木にまつわるおもしろい
話を教えてください。
連絡先 歴史民俗資料館
932・6312

向こう三軒両隣

～住みよい地域づくりを目指して～

社会教育委員会からの提言

「家庭教育」を基本とした新たな「地域づくり」の
視点にたった生涯学習の在り方について、4人の社会教
育委員さんから提言がなされましたのでご紹介します。



「成熟した地域を創りましょう」

須恵東中学校長 今泉 靖親さん いまいすみ やすちか

社会教育委員：学校教育および社会教育の関係者ならびに学
識経験のある人から選考され、社会教育に関
し、教育長を通して教育委員会に助言を行う
ため、教育委員会から委嘱された人です。

世の中の歯車がおかしな回転をし
ていませんか。
人の命が大変軽く扱われる事件が
相次いでおきています。しかも年齢
や性別を問わずに犠牲者が出ること
は困ったものです。
子どもたちを守るために、町では
一斉放送や巡回指導、行政区では見
守り隊の編成、児童生徒には防犯ブ
ザーを身につけるなどの対応策が採
られていますが、身の安全を守るこ
とがこんなに難しいものだったのか
と腹立たしくなります。
交差点での登校指導をしていただ
いている方からも、あいさつもしな

い子どもが多いという声が届きま
すが、「声をかけられても、ひとり
では絶対に対応しないように」な
どと言わざるをえない状況では、
申し訳なくもあり、何ともさびし
い思いにかられます。
改めて、「身の回りの安全」を点
検してみましょう。暗がりや狭い
路地もある中で、緊急時に飛び込
んでいける家をどれだけでもつてい
るでしょうか。
「隣は何をする人ぞ」とまではい
かなくても、付き合いがそれだけ
疎遠になっていくのでしょうか、
せめて「向こう三軒両隣」とは、

や行政区の行事に積極的に参加さ
せる保護者になりましょう。
「向こう三軒両隣」から出発して、
住民同士の協力関係が築かれた大
人の社会を実現していくようではあ
りませんか。

「隣は何をする人ぞ」とまではい
かなくても、付き合いがそれだけ
疎遠になっていくのでしょうか、
せめて「向こう三軒両隣」とは、

常日頃から行き来のできる関係を
ぜひ築いておきたいものです。
まずは、「おはよう・こんにちは・
こんばんは」だけでいいと思います。
今こそ、こんな声が聞こえる「あ
いさつロード」を作りましょう。
いつの日か、どこからでもあいさ
つの声が響くエリアに繋がってい
きましょう。時々須恵駅前では、朝
は「いつてらっしゃい」、夕べには
「お帰りなさい」などの響きのよい
ことが飛び交っています。元氣
がもたえらるし、疲れも飛んでいく
気になり、うれしい限りです。
また、子どもは遊びの天才と言
われてきましたが、最近では指示
待ちの子どもとか、自分勝手な子
どもが多くルールがなくなってい
ます。ぜひ地域の宝としての子ど
もの成長を求めていきましょ。幸
いにも、町の行事は年間を通し
ていろいろ企画されています。町



楽しい考古学

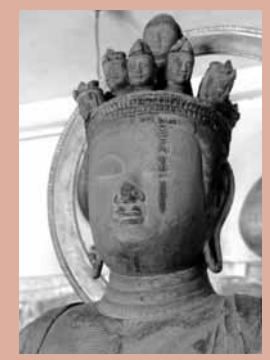
花開く仏教文化(平安時代)

仏像の見かた

佐谷の仏像を紹介する前に、
その見分け方について触れま
す。
仏像は大きく4つに分かれ
ます。
如来：真実を悟った、最高
位のほとけです。衣を身につ
けているのみで、一切の装身
具はありません(釈迦如来、



大日如来像(建正寺)



十一面観音菩薩像(建正寺)

大日如来、薬師如来、阿弥陀
如来など)。
菩薩：悟りを求めて、修行
しながら人々を救うほとけで
す。釈迦が如来になる前の姿
すなわち古代インドの貴族の
姿で表現されます(観音菩薩、
弥勒菩薩、地藏菩薩など)。
明王：如来の教えに従わな
いものを、懲らしめるほとけ
です。全身に怒りを表した姿
で表現されます(不動明王な
ど)。
天部：古代インドで崇拜さ
れていた神々で、その後仏教
に取り入れられ、仏教を守る
ものを指します(四天王、金
剛力士、弁財天、吉祥天など)。
以上が大きな分類ですが、
髪型、顔のパーツ、手足、着
衣、持ち物、製作技法などに
より、さらに細かく分かれま
す。(啓)